

静岡県の繊維産業

繊維高分子材料科 鈴木一之

The Textile Industry of Shizuoka

Kazuyuki SUZUKI

繊維製品消費科学会誌，第56巻，第10号，786-791（2015）

Keywords : Textile

キーワード：繊維

静岡県西部地区は、江戸時代中期以降、愛知県や大阪と並ぶ三大綿織物産地で藍も栽培していたことから木綿織物製造が定着した。

明治時代以降に織布工場の組織化と国内の販路が拡大して「遠州織物」の名は全国で親しまれるようになった。以降、動力織機の発明による生産効率の向上と輸出の増加、工程の分業化が進み、小幅織機から広幅力織機へ転換して工業化が一気に加速して綿織物の一大産地が形成された。しかし、昭和60年（1985年）のプラザ合意による円高の進展で輸出の減少と安価な輸入品が国内需要を奪っていったため、業

界の縮小傾向が続いている。

現在も県西部地区を中心に小幅・広幅織物をはじめ別珍・コール天、からみ織等様々な繊維製品が作られている。

浜松工業技術支援センターも、従来からの先染織物の新商品開発に対する要望があることから、新柄のシミュレーションや試織による開発支援を行っている。

コール天の新製品開発については、旧来の縞柄とは異なる立体的な織り柄を配置したコール天組織の設計や試織などの支援を行っている。